

滋賀県いじめ再調査委員会 次第

日時：平成30年6月29日(金)10:00～

場所：県庁本館2階 第4委員会室

- 1 開会
- 2 任命書交付
- 3 挨拶（総務部長）
- 4 委員紹介
- 5 委員長選任
- 6 委員長職務代理者の指名
- 7 議事（報告事項）
 - （1）公立・私立の小学校・中学校・高等学校および特別支援学校におけるいじめの状況について
 - （2）滋賀県におけるいじめ防止対策について
- 8 閉会

[配付資料]

- ・ 滋賀県いじめ再調査委員会委員名簿
- ・ 資料1 滋賀県におけるいじめの状況（公立＋私立）
- ・ 資料2 いじめ防止対策の総合的な推進

滋賀県いじめ再調査委員会 委員名簿

(任期：平成30年5月28日から平成32年5月27日まで)

(敬称略、五十音順)

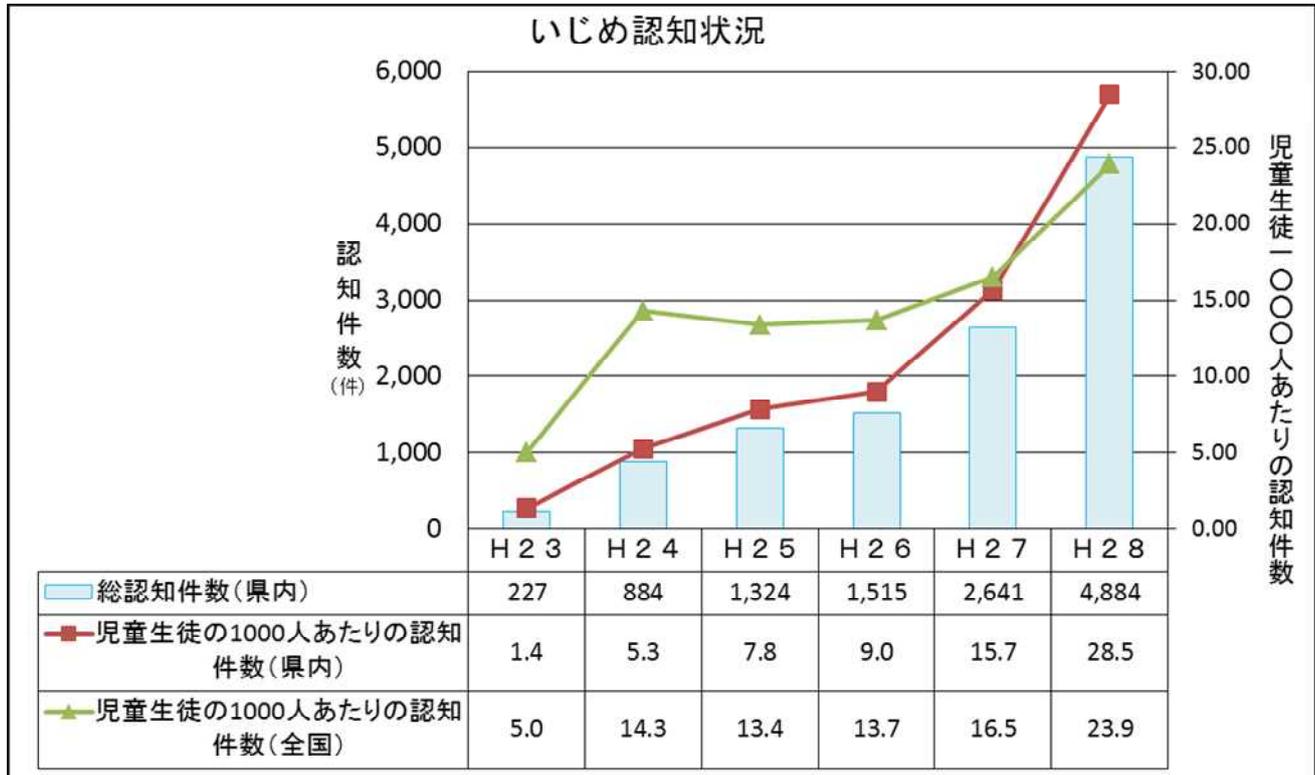
ふ り が な 氏 名	現 職 等	備 考
あらかわ ようこ 荒 川 葉 子	弁護士	新任
あんどう 安 藤 り か	臨床心理士	新任
かすがい としゆき 春 日 井 敏 之	立命館大学教授	再任
さい ほうしゆん 崔 鳳 春	医師（精神神経科）	再任
ささき ちさと 佐 々 木 千 里	社会福祉士	再任

○滋賀県におけるいじめの状況（公立＋私立）

資料 1

（1）いじめの総認知件数

- ①小・中・高等学校ならびに特別支援学校のいじめの総認知件数 **4,884件**
【平成27年度より2,213件 増加】
- 児童生徒1,000人あたりの認知件数 **28.45件**
【平成27年度より12.79件 増加】



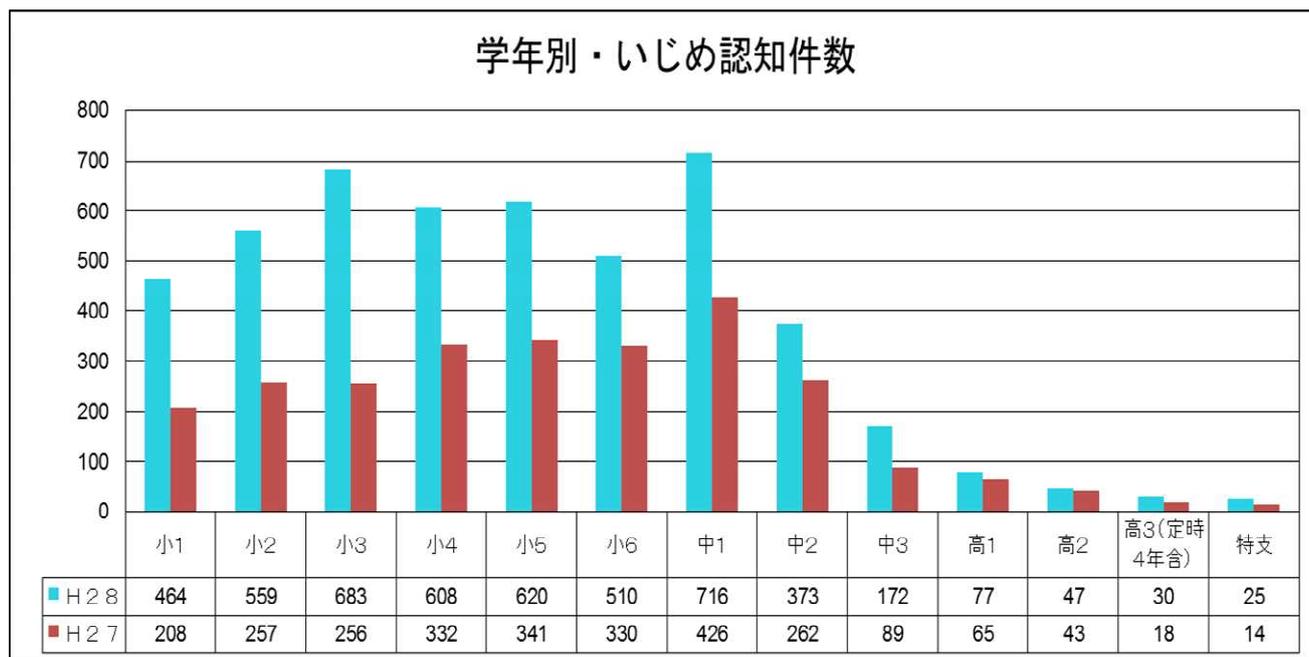
（2）学校種別の認知件数

- ①小学校
 - ・認知件数 **3,444件** 【平成27年度1,724件より1,720件増加】
- ②中学校
 - ・認知件数 **1,261件** 【平成27年度 777件より 484件増加】
- ③高等学校
 - ・認知件数 **154件** 【平成27年度 126件より 28件増加】
- ④特別支援学校
 - ・認知件数 **25件** 【平成27年度 14件より 11件増加】

（3）いじめの認知学校数

- ①小学校認知校数 **206校/226校** 【平成27年度187校より19校増加】
- ②中学校認知校数 **98校/107校** 【平成27年度 89校より 9校増加】
- ③高等学校認知校 **49校/ 71校** 【平成27年度 43校より 6校増加】
- ④特別支援学校認知校数 **9校/ 15校** 【平成27年度 11校より 2校減少】

(4) 学年別・いじめ認知件数



(5) いじめの内容（態様）

【小学校における多い態様】

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

【中学校における多い態様】

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②嫌なこと・危険なことをさせられる。

【高等学校における多い態様】

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②仲間はずれ、無視をされる。

【特別支援学校における多い態様】

- ①冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ②軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。

(6) いじめの発見のきっかけ

- ①本人からの訴え … 28.4%
- ②学級担任が発見した … 26.6%
- ③当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え … 23.5%

(7) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法

- ・「アンケート調査の実施」…………… 100%
- ・年2回以上アンケートを実施している学校の割合…………… 98.0%

(8) いじめの解消状況

「いじめが解消しているもの」のいじめの総認知件数に対する割合(解消率)… 82.1%

《滋賀県いじめ防止基本方針(平成29年9月改定)》

○いじめの問題への対応は、学校だけでなく社会における重要課題の1つ

○「子ども目線」に立ったいじめの把握と学校の組織的かつ迅速な対応による「いじめの解消」を目指す

総合的な対策の推進

滋賀県いじめ問題対策連絡協議会

現状・課題

いじめの認知件数(件)				
H24	H25	H26	H27	H28
855	1288	1497	2633	4855

いじめの発見のきっかけ・相談状況			
	小学校	中学校	高等学校
本人の訴えによる発見	26.1%	32.9%	35.0%
教職員による発見	39.3%	37.7%	46.2%
誰にも相談していない	2.8%	3.9%	5.6%

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

①子どもの自尊感情の醸成とよりよい仲間づくりの課題【平成29年度全国学力・学習状況調査】

- ・自分には、よいところがある」と回答: 滋賀県小学生38.2%(全国38.6%)、滋賀県中学生26.1%(全国28.2%)
- ・「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」と回答:

滋賀県小学生11.6%(全国13.9%)、滋賀県中学生8.0%(全国10.5%)

②教員の資質向上に係る取組と学校の組織体制の課題

- ・いじめを認知していない学校(H28 いじめ0の学校は13.3%)があり、学校間に認知の格差がある。
- ・いじめの発見のきっかけで、誰にも相談していなかった児童生徒もいる。
- ・いじめの認知の判断基準について、「継続性、集団性」等の要素により、限定する例がある。(総務省勧告)

③家庭・地域・関係機関との連携の課題

- ・「PTAや地域の関係団体等とともに、いじめ問題について協議する機会を設けた」と回答した学校の割合: 滋賀県公立小学校44.4%、公立中学校53.5%

対策・取組

～子どもたちの活躍の場づくり、「チーム学校」による組織的対応の充実～

①児童生徒が主人公となる学校づくり

○滋賀県いじめ問題サミット

- ・ H29湖南・湖西、H30湖東・湖北
- ・ H31全县 ⇒ 各市町、中学校区単位での開催への広がり

○考え、議論する道徳と体験活動の充実

○人権意識や自尊感情の向上

- ・ 自尊感情・学びの礎育成プロジェクト

○いじめや差別を許さない学校づくり

- ◇児童生徒によるいじめに特化した取組
小学校85.1%、中学校97.0%、
高等学校56.4% (H29教育委員会組織目標)

②教員の資質向上・学校組織の充実

○学校による組織的対応の充実

- ・ スクールカウンセラー等活用事業
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業
- ⇒ 被害者へのケア
- ⇒ 加害者への指導と成長支援

○教員の資質向上

- ・ 教育相談スキルアップ研修
- ・ いじめに関する学校訪問
- ・ 生徒指導・教育相談担当者連絡協議会
- ・ いじめ対応リーフレット発行
- ・ ストップいじめアクションプラン改定

③児童生徒・学校を支える関係機関のサポート体制の充実

○第三者による児童生徒支援の継続

- ・ いじめで悩む子ども支援事業
- ・ 生徒指導緊急サポート事業
- ・ 24時間子どもSOSダイヤルによる相談支援

○重大事態への対応

- ・ 生徒指導緊急特別対応事業
- ・ 滋賀県立学校いじめ問題調査委員会
- ・ 滋賀県いじめ問題再調査委員会

○家庭・地域・関係機関との連携推進

- ・ 地域学校協働本部事業
- ・ コミュニティスクール

滋賀県いじめ問題生徒会サミット

- ①いじめをするのが私たちなら いじめをなくすのも私たち ②あいさつは いじめ防止の特効薬 ③相手を尊重 自分も尊重

【いじめをなくす三か条】